

リーグ優勝から
オリンピックへ



NBA メンフィス・グリズリーズ 渡邊 雄太

バスケットボール日本代表。三木町出身。206㍉、98㍑。小学生の時にバスケットボールを始め、尽誠学園高校では、1年次よりスターターとして全国大会に出場。全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会で2011年、12年と2年連続で準優勝し、大会ベスト5に選出。高校卒業後に渡米し、セント・トーマス・モア・スクールを経てジョージ・ワシントン大学に進学。18年にメンフィス・グリズリーズとツーウェイ契約を結び、日本人2人目のNBAプレイヤーとなった。その後、トロント・ラプターズ、ブルックリン・ネッツで活躍。今シーズンはフェニックス・サンズを経て2月に古巣であるメンフィス・グリズリーズに移籍。2023年のワールドカップでは日本代表の中心選手として活躍し、2024年に開催されるパリオリンピックの出場権獲得に大きく貢献した。

知事 香川県出身の渡邊雄太選手が、アメリカのプロバスケットボールリーグ

「NBA」の選手となって活躍し、昨年の夏にはワールドカップの日本代表のメンバーとして快進撃を見せてくれました。高松の中学・高校の部活でバスケットボールに明け暮れていた私にとっても、歓喜と感動の連続でした。それにしてもあれほどスリリングな試合は、めったに見られるものではないですね。

渡邊 いまだに昨日のことのように、あの

県外に出れば良かったと思ったことは一度もありません。

知事 香川で悔いのない高校生活を送り、次はアメリカの大学に進学しました。アメリカ進学を決意し、プロ選手になろうと意識したのはいつ頃でしょうか。

渡邊 小さい頃から、NBA選手になりたいという大きな目標をずっと持ち続けていました。その目標のためには、高校卒

WATANABE YUTA

知事対談 渡邊 雄太

IKEDA TOYOHITO

池田 豊人

香川から世界へ夢のシュートを

香川県知事

池田 豊人

ふるさとから
エールを送ります

喜びと興奮がよみがえります。オリンピック出場を目指し、チームみんなで力を合わせてきましたので、やはり最高の瞬間でした。世界的にいえば最近のバスケットボールのスタイルは、展開を速くするのが主流です。最終のフォースクォーターから逆転というケースは結構あるのですが、それにしても世界大会で格上のチームを相手に、大差を逆転できたというのは奇跡的なことに見えたと思います。

知事 本当に感動をありがとうございます。ま

業後は早くアメリカに行きたいと考えていました。実は英語もほとんど話すことができず、当時は技術面、体格面ともにアメリカ行きはまだまだ大変な時代でしたが、その苦労を経験したおかげで、人としても選手としても大きく成長できたと思っています。結果、NBA選手になることもできましたので、あの決断は自分を変えた大きなターニングポイントでした。変えたと言えば、アメリカへ渡って一番変わったのは、自己アピールができるようになったことでしょうか。

知事 日本人は自己主張するのに少し抵抗感を持ちますね。香川県民は特に苦手かもしれません。得意満面で自己主張をしたりすると、方言で「うれしげに言わんの（調子に乗るんじゃない）」と言われるから。でも、アメリカでは「うれしげに言う」ことも必要なんですよ。渡邊選手には、香川県のこともうれしげに語っていただきたいと思いますが、香川県に帰ってきて楽しみにしているものといえど何でしょうか。

渡邊 香川県には毎年オフシーズンに帰るようにしていますが、必ず行くのは地元のお店です。僕は本当にうどんが好きで、香川県にいられるのは1週間から長

した。男子代表が自力でオリンピックの出場権を獲得するのは48年ぶりの快挙。今回のワールドカップでパリオリンピックの出場権を獲得できなかったら、日本代表を引退すると公言して臨まれていましたが、画面を通じてチームを背負っている覚悟というようなものが伝わってきました。渡邊選手は小学生の時に香川県三木町のスポーツ少年団で本格的にバスケットボールを始めたと言いました。尽誠学園高校では、1年生からレギュラーとして活躍し、全国大会で2年連続準優勝とベスト5に選出されるなど、輝かしい成績を収められました。高校進学では県外からの誘いもあったと思いますが、最終的な決断はご自身の判断だったのでしょうか。

渡邊 高校進学については、両親からアドバイスはもらいましたが、最後は自分で決めました。尽誠学園の練習を見学し、自分もこのチームに入ってバスケットボールがしたいと思えました。何より、色摩拓也先生（監督）の話を伺って、この人に指導してもらいたいと思ったのが大きかったですね。尽誠学園のおかげで香川に残ることができ、そこでいろんなことを教わったからこそ、今があると思っています。

くて2週間ですが、その間に2〜3回は食べに行きます。香川に帰れば、やはりうどんは欠かせません（笑）。アメリカでも、冷凍ですが結構な頻度で食べています。うどんを食べて試合に向かっています。

知事 これからもうどんパワーで活躍いただきたいですね。昨シーズン終了後にチームを移籍し、新天地で2023〜2024年シーズンを迎えました。今年の夏にはパリオリンピックが開催されます。意気込みや抱負などをお聞かせください。

渡邊 NBAのシーズンは10月から翌年4月までがレギュラーシーズン。それ以降、上位チームはプレーオフに進出し、6月のファイナルへと試合が続きます。優勝まで進めば6月半ばになるので、それが終わってすぐ日本代表の活動となるのが、自分としては理想です。NBAで優勝し、その経験や自信を蓄えた上で、オリンピックに出場できればと願っています。まずは、目前のNBAのシーズンを二試合、一試合、一生懸命闘い、しっかり結果を出してチームに貢献したいと思っています。

知事 これからも大活躍を祈っております。今日はお忙しいところ、ありがとうございます。ありがとうございました。

※今回の対談は、2023年秋にオンラインで実施しました。